

日比谷カレッジ  
HIBIYA COLLEGE

## 額縁からみる絵画

レオナルド・ダ・ヴィンチからゴッホまで

日時 2016年6月22日(水)  
講演 19時～20時45分 (18時30分 開場)  
会場 日比谷図書館  
地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)

講師 小笠原 尚司 (額装家)

～額縁を意識した絵画鑑賞の楽しみ～

美術全集や展覧会の図録等で多くの名画は額縁なしで紹介されますが、ギャラリーや美術館では額に入れて展示されます。そこで今回は「額縁」に注目しつつ絵をみていきます。

美術鑑賞をするとき、私たちは描かれた絵そのものを楽しむと同時に、額縁や壁面との調和も含めて額装された全体としてみています。絵画を額縁と一体となった美術品、かつ装飾品としてみると、絵画鑑賞の奥行きは宗教的な目的から、枠取りと建築、装飾との関係にまで広がります。

中世の祭壇画からレオナルド・ダ・ヴィンチなどのルネサンスの巨匠、バロックからゴッホなどの印象派まで、画家自らがデザイン、制作した額縁も含め

日比谷図書館  
千代田区日比谷3-1-1  
●地下1階(大ホール)  
●地下2階(図書室)  
●地下3階(図書室)  
●地下4階(図書室)  
●地下5階(図書室)  
●地下6階(図書室)  
●地下7階(図書室)  
●地下8階(図書室)  
●地下9階(図書室)  
●地下10階(図書室)

【定員】 200名 (要予約)  
【参加費】 1000円  
【申込み】 電話 03-3502-3333、E-mail: [hibiyal@hibiyal.jp](mailto:hibiyal@hibiyal.jp)  
※申し込みは、申込書の提出が必要となります(本人が)。お申し込みは、お申し込みの受付時間までです。

主催：千代田区立日比谷図書館



イベント 終了しました

## 額縁からみる絵画 レオナルド・ダ・ヴィンチからゴッホまで

キーワード	日比谷カレッジ
内容	<p>～額縁を意識した絵画鑑賞の楽しみ～</p> <p>美術全集や展覧会の図録等で多くの名画は額縁なしで紹介されますが、ギャラリーや美術館では額に入れて展示されます。そこで今回は「額縁」に注目しつつ絵をみていきます。</p> <p>美術鑑賞をするとき、私たちは描かれた絵そのものを楽しむと同時に、額縁や壁面との調和も含めて額装された全体としてみています。絵画を額縁と一体となった美術品、かつ装飾品としてみると、絵画鑑賞の奥行きは宗教的な目的から、枠取りと建築、装飾との関係にまで広がります。</p> <p>中世の祭壇画からレオナルド・ダ・ヴィンチなどのルネサンスの巨匠、バロックからゴッホなどの印象派まで、画家自らがデザイン、制作した額縁も含め</p>

	て代表的な名画を額縁とともに新たな視点から考えてみます。
日にち	2016年06月22日（水） 19:00から20:45
日にち説明	18:30開場
場所	地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
関連ファイル	<a href="#">講座チラシ</a>
発信者	千代田区立日比谷図書文化館
定員	200名（事前申込順）
参加費用	1000円
講師・出演者	小笠原 尚司
プロフィール	<p>■小笠原 尚司（おがさはら ひさし） 額装家 1961年高崎生まれ。1980年代中頃よりフランス、パリを拠点に写真家として雑誌や広告、建築の分野で活躍。作品はフランス国立図書館、フランス現代美術コレクション、ヨーロッパ写真館等に公的コレクションとして保存。フランス滞在中に額装に魅せられ、1999年帰国後、都内に額装スクールAtelier YO、額縁・額装ショップ、ギャラリーsur-mursをオープンし、アートと壁面装飾、空間への可能性について額装をとおして提案。</p> <p>主な著書： 『フレーム・イン・ザ・インテリア』 トーソー出版、『額縁への視線』 八坂書房、『額縁からみる絵画』 八坂書房</p>
主催	千代田区立日比谷図書文化館
問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館（03-3502-3340）
申込期間	2016年05月10日 10:00 から2016年06月22日 19:00
申込方法	電話(03-3502-3340)、Eメール (college@hibiyal.jp)、来館（1階受付）いずれかにて①講座名（または講演会名）②お名前（よみがな）③お電話番号をご連絡ください。
関連リンク	<a href="#">講師関連ウェブサイト</a>
発信日	2016.05.10



ツイート

---

©2011 Hibiya Public Library. All Rights Reserved.